



学校と地域をつなぐ



社会教育主事通信  
～えにし～

松江市教育委員会  
生涯学習課・学校教育課

2025/11/14(金) 第5号

## 家庭教育支援の取組①

# 第2回 松江市親楽ファシリテーター養成講座を開催しました！

10月5日(日)に松江市市民活動センターで今年2回目となる「親楽ファシリテーター養成講座」を開催しました。学び直しを希望されたファシリテーター1名と、3名の計4名の参加者の方に「親楽プログラムとは?」「親楽ファシリテーターの役割は?」について学んでいただきました。最初の「親楽プログラム体験」では、現役ファシリテーターの高橋杏実奈さんのファシリテーションによる親楽を体験してもらいました。その後は講義、演習と一日盛りだくさんの内容でしたが、参加者さんの意欲的な姿勢が随所に感じられ、演習は特に盛り上がっていました。

今年度の(松江市)親楽ファシリテーター修了者がこれで4名となりました。今年度中にどんどん親楽の現場や親楽カフェに足をはこんでもらって親楽ファシリテーターのつながりを深めてもらいたいと願っています。



親楽体験のアイスブレイクの様子



講義の様子



アイスブレイクの様子



演習の様子(2グループ進行)

## 家庭教育支援の取組②

# 第2回 松江市おしゃべり広場を開催しました！



上記の養成講座の3週間後10月25日(土)に、松江市おしゃべり広場を同じく松江市市民活動センターで開催しました。当日は参加者さんとファシリテーターと一緒におしゃべりを楽しみながら、子育てについてそれぞれに考えました。今回は「こんなこどもに育てほしい」(ランキング)と「子育ての喜びと悩みをみんなでおしゃべり」(ラベルワーク)の2種類のワークを行いました。先日の養成講座で修了証をお渡ししたばかりの中西さんがメインファシリテーターを務め、和やかな雰囲気での終始おしゃべりが盛り上がりました。最後には参加者さんに『子育てプチ宣言』をカードに記入してもらい、お子さんの作ったオリジナル缶バッジとともにお土産にしてもらいました。託児では、古志原公民館の布の絵本やサン・レイクのカプラが大活躍でした。今年度のおしゃべり広場はこれで終了ですが、来年度は保護者さんの参加がさらに増えることを願っています。



4つのやくそく確認



託児の様子



ワーク(ラベルワーク)の様子

## 放課後こどもプラン関係事業の取組①

# 第6回こどものための学びあい支えあい講座を開催しました！



年間計 10 回にわたる本講座は、児童クラブや放課後こども教室、放課後デイサービス等の放課後のこどもたちに関わる方々向けの学びやつながり作りの場となっています。

今回は、昨年度から要望の多かった「レクリエーション」で、サン・レイクの体験活動出前講座に講師を派遣してもらい開催することができました。

松江市市民活動センターの交流ホールに集まった 50 人の参加者で実際に様々なアイスブレイクやレクリエーションを楽しみながら体験しました。「からだ」と「あたま」と「こころ」を使う数多くのレクリエーションは、こどもたちの『ニコニコ』や『ワイワイ』や『ドキドキ』につながっていることを肌で感じ、参加者同士で最後に情報交換をしました。

実際に各クラブや教室で取り組んでいるレクリエーションや、悩みなどをグループで共有することで、こどもたちの支援に前向きになっている様子が事後アンケートからうかがえました。



アイスブレイクで準備万端！



レクリエーションも大盛況！

## 放課後こどもプラン関係事業の取組②

# 放課後こども教室を紹介します！

10月20日(月)に訪問したふるえ子ども広場を紹介します。

ふるえ子ども広場は、古江小学校の多目的ホールを拠点に校舎内(オープンスペースや図書館・体育館)や校庭を活動場所としています。訪問してみても印象的だったのが、受付のある多目的ホールにやってくるこどもたちの表情が皆キラキラ輝いていることでした。「今日は〇〇をするぞ!」や「宿題が終わったら友達と遊べる!」など、“自分のやりたい”ことをはっきり持っている様子でした。

実際に“自分のやりたい”活動の様子を観察していると、どこでも共通してこどもたちがおもいきり体を動かしたり、夢中で没頭していたりしてとにかく笑顔があふれているということでした。

なぜこのようなこどもたちのすてきな様子が見られるのかとさらに見ていると、スタッフ(コーディネーターや安全管理員)の皆さんが誰も同じスタンスだということに気づきました。こどもたちがやりたいことを全力で肯定しているのです。それは、校舎内でドッジビーを全力で投げている、室内を全力で走っている、優しいまなざしで見守るスタンスなのです。どうしてもついつい「だめ」や「やめなさい」と否定しがちですが、こどもたちがやりたいことを応援しているのです。するとこどもたちも“自分のやりたい”ができるように「危険はないか」「どうしたらみんな安心して遊べるか」を考えるようになったようです。



ものづくりに夢中！



卓球で真剣勝負！



荷物は教室中央に！

### お問い合わせ先

生涯学習課 (川神 拓人)

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail: [s-kikaku@city.matsue.lg.jp](mailto:s-kikaku@city.matsue.lg.jp)



学校教育課

学び推進係 (富谷 衡)

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail: [manabi@city.matsue.lg.jp](mailto:manabi@city.matsue.lg.jp)



バックナンバーはこちら